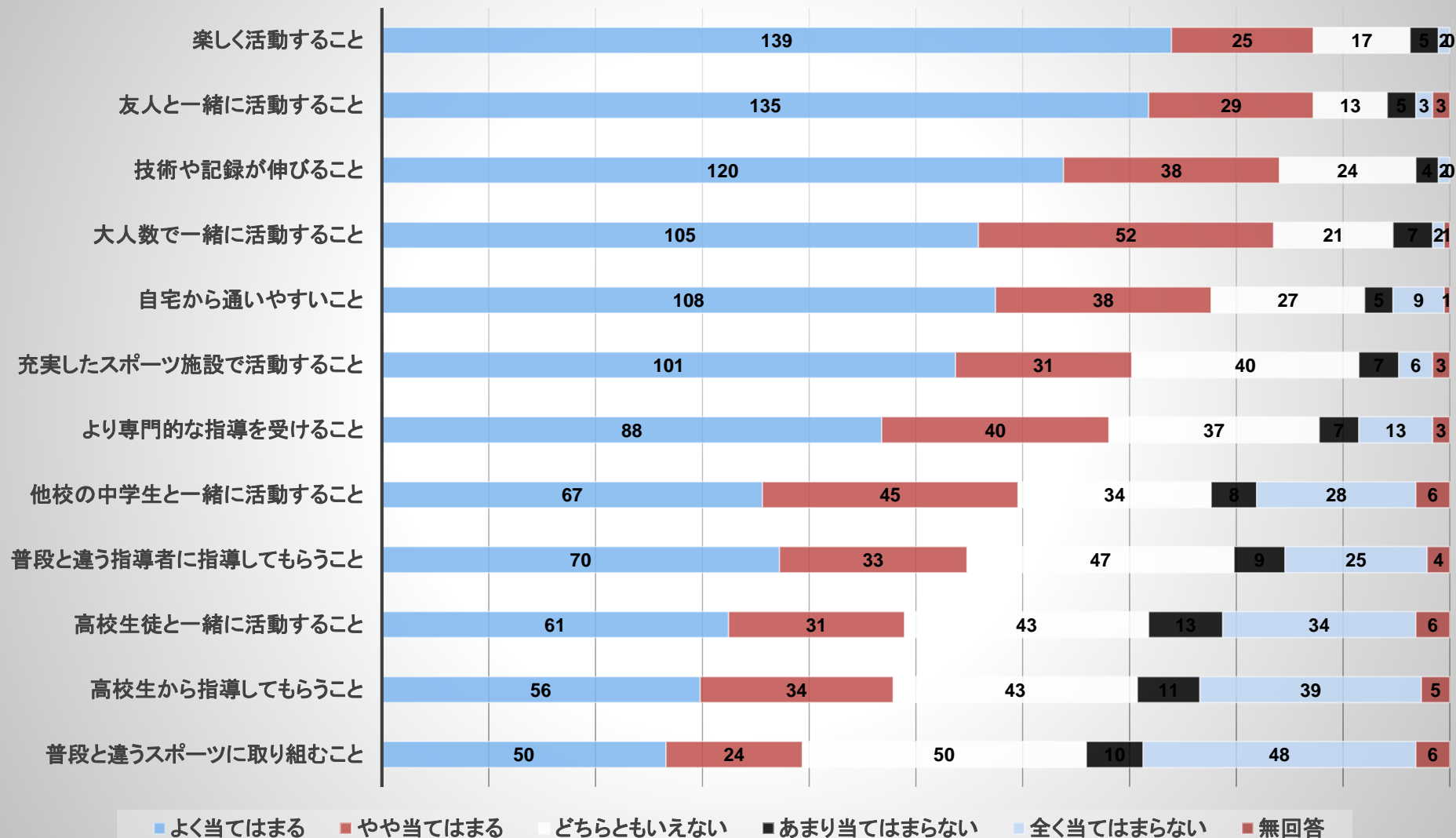


## 2 本市モデル事業「桜宮スポーツクラブ」 中間報告 21

桜宮スポーツクラブの活動に期待すること



## 2 桜宮スポーツクラブの活動の様子(8月6日分)

22



女子バレー



男子バスケ



女子サッカー



ボート



女子バスケ

ボートは昨年度も参加した中学生が今年も参加！  
参加した中学生から「楽しかった」と聞いて、当日参加もありました！

# Danceのススメ!!

～リズムに乗って体を動かす楽しさを体験しよう～



コンディショニングエクササイズやピラティスの第一人者にして競技エアロビクス世界チャンピオン6回!の超絶インストラクターによる、誰もが音楽に乗って体を動かす楽しさを感じていただけるレッスンです。

～こんな生徒さん、絶賛募集中です～

- ☑ 踊ってみたい・・・音楽のリズムに乗ってステップを踏んで、ダンス!
- ☑ 体幹を鍛えたい・・・ダンスの基礎となる動きでコア・ストレッチ!
- ☑ リラックスしたい・・・カラダとココロを整えるコンディショニング!



講師：野村 健一郎(敬称略)

主催：大阪市教育委員会 桜宮スポーツクラブ(仮称)立上げ委員会

協賛：ライフスポーツKTV

## 2 桜宮スポーツクラブの活動の様子(Danceのスズメ!!) 24



2中学校から15名の中学生が参加し、桜宮高校ダンス部の生徒と一緒にストレッチ、体幹トレーニング、基礎的なダンスの動きを学びました。所属する部活動に活かせる運動を、プロのコーチから分かりやすく教えてもらえ、とても楽しかったというコメントが多く寄せられ、満足度100%の特別企画となりました。次回も同じような内容を希望する声ばかりで、ヒップホップダンスも教えてほしいという要望もありました。

# みんなの水泳教室

～水でつながるスイミング～

## みんなで泳ぎを楽しみませんか？

水泳の息継ぎが上手いかない、途中で何度も立ってしまう…、どちらかという泳ぎが苦手、プールでの水泳が嫌い、という生徒さん、介助や支援が必要な障がいがあって、本当はもっと泳いでみたいけど、なかなか思うように水泳が楽しめない、パラリンピックをみてパラ水泳にちょっと興味がある、という生徒さんやその保護者の方々、

そんな皆さんに、一緒に水に親しんで水泳を楽しんでほしいという思いから、オリンピックの千葉すず先生と異樹理先生が、障がいの有無に関係なくみんなで楽しめる水泳教室を企画され、今回、お二人に特別にコーチをしていただけることになりました！

「共に泳ぎ、共に楽しむ」…そんな水泳教室に参加してみませんか？



講師：千葉すず、異樹理（敬称略 順不同）

主催：大阪市教育委員会 桜宮スポーツクラブ(仮称)立上げ委員会

## 1 各地域の特性の把握

- 各区の各種統計データ、部活動実施状況、部活動指導員の配置状況
- 総合型地域スポーツクラブ、プロスポーツチームなどスポーツ資源の実態

## 2 モデル拠点の選定

- 桜宮スポーツクラブの都島区以外に複数の拠点の設置をめざし、拠点候補へのヒアリング  
学校関係者、区、近隣のスポーツ施設・団体等を対象に意見を聴取し課題を整理
- 実施形態のパターン例の選択  
拠点候補の個々の実情や課題に応じた実施形態を選択できるよう、ステークホルダーと調整

## ＜実施形態のパターン例＞

フェイズ① 課題解決型・・・現行の部活動の課題解消のため、地域人材等を活用する

モデル名	運営主体	活動場所	活動イメージ例
部活動指導員活用モデル	学校	学校	既存の部活動指導員制度を活用し、部活動の業務を委ねる
民間の外部講師活用モデル	学校	学校	部活動の指導ができる講師を外部から招致して指導を委ねる
合同部活動モデル	学校	学校	複数の学校(異なる校種間連携含む)が合同で部活動を実施し、大会等に参加する

➤ フェイズ② ニーズ充足型・・・更なる魅力化を図るため、新たに地域資源を活用する

モデル名	運営主体	活動場所	活動イメージ例
保護者、地域による支援モデル	学校／ 地域人材・団体	学校／ 社会教育施設	保護者やボランティア等が部活動の見守りや大会時の送迎を行うことで部活動を支援する。地域が学校と連携して団体等を創設し部活動に代替する活動を作り上げる
大学アウトリーチモデル	大学等	学校	大学が教員等を学校に派遣し、部活動を指導・支援する
地域団体等アウトリーチモデル	地域団体等	学校／地域団体等の拠点	スポーツや文化活動を事業目的としている団体(営利性を伴う団体を含む)が専門人材を派遣し部活動を指導・支援する

## ➤ フェイズ③ 地域移行型…従来の部活動から新しいスポーツ活動へシフトする

モデル名	運営主体	活動場所	活動イメージ例
地域団体等プログラム開催モデル	地域団体等	地域団体等の拠点	地域団体等が拠点の施設設備、人材、コンテンツを活用し、子供向けのプログラムを提供する
民間事業者モデル	民間事業者	学校／ 民間事業者の拠点	民間事業者が部活動を実施する
保護者、地域による支援モデル2	地域の団体	学校／ 社会教育施設	地域の団体が受け皿となり部活動を実施する

### 3 モデル拠点での調査

#### ➤ 生徒や保護者へのインタビュー・アンケート調査

スポーツ活動に関するニーズや課題の掘り起こし、モデル試行の周知等

#### ➤ ワークショップ・実証実験 ➡ まとめ

関係者の理解が進んだ段階で、学校関係者や団体等の共通理解を図り、モデル試行に向けたアクションを整理可能であれば、来年度の取組みを先取りしたプレ試行を実施し、一連のプロセスを検証



# 3(1) 来年度に向けての取組み

10～11月

12月～1月

2～3月

①学校・スポーツ団体等への  
ヒアリング

②来年度モデル拠点の選定  
生徒、保護者へのインタビュー・アンケート調査

③来年度モデル拠点のプレ体験  
学校・スポーツ団体のワークショップ、実証実験

④まとめ

10/4 総合教育会議

10/31 本市有識者会議 #1

・モデル拠点案の検討

・移行スケジュール案の検討

1/9 桜宮SC体験会終了

・来年度予算案公表

・本市有識者会議 #2

・今年度事業のまとめ

・契約事務審査・選定会議

令和5年度

6～7年度

令和8年度

- 課題の整理
  - 学校関係者へのヒアリング調査を通じて、該当区特有の課題（人材確保・財源・リスク等）の整理
- モデルの検討
  - ステークホルダーへのヒアリング調査を通じて該当地域で妥当なモデルを導出。
- 体験会の実施
- 実証実験（仮説検証）
- アンケート調査（生徒・保護者）

- 受け皿団体①の設立・運営へ  
（都島区・桜宮スポーツクラブ）
- モデル拠点における体験会／実証実験
- 受け皿団体②の設立検討・準備（都島区以外）

- 受け皿団体①の経営基盤強化へ
- 受け皿団体②の設立・運営へ